

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。

<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>



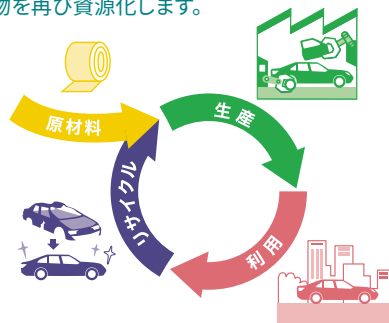
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタ SORA 環境仕様

車名		SORA
車両型式		ZBC-YV828LA
車両総重量		16トン超
駆動用モーター	型式	HR11
	種類	交流誘導電動機
	定格出力(ネット)	(kW) 155 (77.5×2)
	最高出力(ネット)	(kW/r.p.m) 220 (110×2) / 2,184~3,000
駆動用バッテリー	最大トルク(ネット)	(N・m/r.p.m) 970 (485×2) / 45
	型式	RCC22
	種類	リチウムイオンバッテリー
	バッテリー個数	4
走行装置・シャシー	総電圧	(V) 354
	駆動方式	後輪駆動
	動力伝達装置・総減速比	22.66
燃料消費率	JH25 (国土交通省審査値)	(km/kg) ー
CO ₂ 排出量		(g/km)
排出ガス	適合排出ガス規制	排出ガス規制の適用を受けない自動車
車外騒音	規制区分	平成28年騒音規制M3B3A
	加速騒音規制値	(dB[A]) 76
冷媒の種類 (GWP値※1) / 使用量		(g) HFC-134a (1430※2) / 2,500
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成 (1996年比1/4以下※3)
	水銀	自工会自主目標達成 (2005年1月以降使用禁止※4)
	カドミウム	自工会目標達成 (2007年1月以降使用禁止)
	六価クロム	自工会目標達成 (2008年1月以降使用禁止)
車室内VOC※5		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)
環境負荷物質使用状況等	鉛	電子基板・電気部品のはんだ、軸受、ベアリング等を使用
	水銀	水銀の使用無し
	六価クロム	六価クロムの使用無し
	カドミウム	カドミウムの使用無し
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	メータークラスター、インパネカバー、フロントビラーなど

※1. GWP Global Warming Potential (地球温暖化係数)

※2. フロン法において、バス用エアコン冷媒は、2029年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。HFC-134aは廃棄時には冷媒を回収することが義務付けられており、大気放出は禁止されています。

※3. 1996年乗用車の業界平均1,850g (リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)。

※4. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)。

※5. VOC: Volatile Organic Compounds